



地域と保健センターのパイプ役 母子保健推進員

母子保健推進員とは

母子保健推進員は、地域の妊産婦やお子さんの健康を見守るサポーター役として市から委嘱されます。現在、市内で52人の皆さんが活躍しています。

活動内容

母子保健推進員は、次の活動を行っています。

赤ちゃんが生まれたお宅へ家庭訪問し、保健センターでの教室や乳幼児健康診査などの案内や育児に関する情報提供などを行います。



保健センターで行われる教室（乳幼児健康相談やもぐもぐ離乳食教室、ママとベビーのリフレッシュ教室など）のお手伝いをします。



研修会へ参加し、母子の健康に関する勉強をします。



市長の部屋から

2月27日(土)

「第37回土岐市消防団活動写真コンクール」の表彰式が、市北防災センターで行われ、50点の応募の中から選ばれた皆さんに表彰状が授与されました。



消防団は市にとりまして、最も重要な組織のうちの一つです。このコンクールは、その消防団の活動を市民の皆さんに広く知ってもらおうことと、防火・防災に対する意識を高めることを目的としています。皆さんの撮られた写真が、広く市民の皆さんに周知する助けになっています。

今回の写真展では、訓練や操法大会など出初め式以外の地道な活動の写真も見られました。ここにおられる皆さんは、消防団の一番の理解者だと思います。これからも消防団の活躍する姿を写真に収めて市民の皆さんに紹介していただくとともに、消防団を応援していただけることを願っております。

土岐市長 加藤靖也

